

報恩講

ほうおんこう

昭和五十年十一月九日
平間山 稱名寺 什物

謹啓 お彼岸が過ぎ、秋の気配が深まって参りました。ご門徒の皆様には益々ご健勝の事とお喜び申し上げます。さて、新型コロナウイルス感染症拡大のため、お寺の諸行事も開催が難しい状況下にあります。仏法聴聞の場を求められるご門徒の声をいただいております。諸々の対策を実施した上で、本年の宗祖親鸞聖人「報恩講」を皆様と共に厳修させていただきたいと思っております。

どうぞ浄土真宗の教えとのご縁を深めて頂きたく、ここにご案内申し上げます。 合掌
門信徒各位

2021年10月 住職・総代・世話人一同

日時 10月23日(土) 午後2時開会、4時頃まで

24日(日) 午後2時開会、4時頃まで

(受付は1時半より。例年と内容が異なります。日程の詳細は裏面をご覧ください)

法話 ^{きよたに}清谷 ^{ますみ}真澄 師 岩手県北上市・通來寺住職

講題 「南無阿弥陀仏ヲトナフレバ」

会場 ^{しょうみょうじ}稱名寺 参加費 ころろざし

持参品 お念珠、勤行本(赤本・お持ちの方は)、平服で結構です。

参加方法(10月20日締切)

※今回も返信葉書は同封しておりません。

■直接お電話でお寺(044-511-1674)にお申込下さい。欠席の連絡は不要です。

三密を避けるため、参詣席の間隔を広げ、席数を減らしております。誠に申し訳ありませんが、参詣はどちらか一日のみでお願いします。受け入れ可能人数を超えた場合は、申込順で締め切らせていただきます。ご了承ください。

■マスク着用の上、換気の徹底のため、寒さ対策もお願いします。発熱など体調が優れない場合は、参加をお控え下さい。どうぞお気をつけてご参詣下さい。

報恩講日程

両日とも日程を短縮し、開会から閉会まで約2時間を予定しています。
お齋(食事)・懇親会はありません。勤行は、正信偈同朋奉讃式と致します。

23日 (土)	午後1時半	受付	
	午後2時	開会	
		速夜法要 ^{たいや}	お勤め (正信偈)
	午後2時45分	ご法話	清谷 真澄 師
	午後4時	閉会	

24日 (日)	午後1時半	受付	
	午後2時	開会	
		日中法要 ^{にちちゆう}	お勤め (正信偈)
	午後2時45分	ご法話	清谷 真澄 師
	午後4時	閉会	

※24日の晨朝法要^{じんちやうほうよう}は午前8時より勤まります。

報恩講

私たち真宗門徒が宗祖と仰ぐ親鸞聖人は、1262(弘長2)年11月28日に、そのご生涯を終えられました。宗祖が果たされたお仕事の大切さを讃え、文字どおり恩徳に感謝し報いるための行事が報恩講です。一人ひとりが自分の生活を振り返り、宗祖の教えの意義を確かめる、一年でもっとも大切な御仏事です。

聖人のご一生は、「ついに念仏の息たえましましおわりぬ」と、まさに念仏に貫かれたものでした。この現実社会を生きていく中で、私たちは本願念仏の教えがどれほどかけがえのないものであるのかを確かめる機縁として、私たちのいただいていた報恩講を大切にお勤めしたいものです。

東本願寺発行「報恩講」より



※10月の「同朋の会」は休会です。

清掃奉仕のお願い — 10月19日(火) 午前9時半より昼頃迄 —

作業しやすい服装で、お時間にお寺までお越し下さい。今回は、仏具磨きではなく、境内や本堂・庫裏の清掃をお願い致します。お昼頃までに終了します。

(ご奉仕可能な時間だけでも結構です)